

2017年5月9日

最近話題になっている自衛隊の海外派遣の法制化が阿部氏の強引な採決で決まった。このことにより自衛隊は要請に基づき駆けつけ警護やら日本人の救出活動やらで、海外に派遣できることとなった。こうした中で日頃より、我々の自衛とは何なんだろうと思っている。よくその辺のおばちゃんの言うように二度と戦争は起こしたくない、このため戦争を起こすきっかけとなる自衛隊に反対する、というような思考をよく耳にする。しかしながら単純に戦争しないということでもいいのだろうかとも思う。もちろん戦争は私も反対である。

昨今の海外の状況を見ていると、いわゆるならず者国家と言ってもいいような国が、核弾頭をちらつかせて核開発を強引に認めると世界に迫っている。一方で、いつの間にか南シナ海は自分らのものだから勝手に軍事基地作ってしまうようなことも行われている。

もしこうしたならず者国家が日本に攻め込んできたら、日本はどうするのだろうか？日本が占領されて他国の支配下に置かれてしまってもしょうがないかもしれない。しかしもし自分の目の前で近しい人が殺されてしまうような目にあっても黙ってみられているのだろうか？私はそれはできないだろうと思う。残念ながら歯向かっても勝てないとわかっていても自分の力が及ぶ限り、何でもするだろう。たとえ相手を殺すようなことがあったとしても！

何も考えないおばちゃんたちはそうした事態がおこる前に話し合いで解決すべきだとおっしゃるに違いない。日本は外交折衝が下手なので、もっと外交交渉力を身に着けるべきだと、おばちゃんがたはのんきなことを言うだろう。しかしながら今の北朝鮮と彼らに核開発をやめさせようとしている連中、アメリカ等はうまく交渉しているとでも思っているのだろうか？交渉するには、相手と互角な交渉力が必要である。北挑戦ばかりが核兵器で脅しをかけていると思っているのだろうか？これは間違いである。アメリカとて即座に航空母艦を日本海に展開して、核実験をすれば北挑戦に攻撃を加えるぞと脅しをかけているのだ。北朝鮮から見ると韓国、日本との合同演習もしかり、つまり挑発しているのは北朝鮮ばかりではない、アメリカも十分北緒戦を挑発しており、どちらが先手を打つか見極めているとしか思えない。先に手を出したほうが不利な立場に立たされる。アメリカはこうした強大な力のもとに常に外交を行っている。何もない、日本が単独で北朝鮮と外交交渉をしても途端に敗北する。経済封鎖をもっと他国と協力して行えばいいのではといったところで足並みがそろわない。たとえうまくいっても空かさず北朝鮮は韓国、中国、ロシア、日本等に武力で押しかけてくるだろう。何も犯行手段を持たない日本が最も攻めやすいのだと思う。世界が行っている、あるいは行ってきた外交交渉とはおおよそこういうものだ。いずれも物理的な力を背景に脅しをかける外交をやっているのだと思う。世のおばちゃんが方いうようにただ話し合えば分かり合える、などと考えるのは歴史を知らない連中の思い上がりではないかと思う。私も2度と戦争はすべきでないと思っている。

では何かいい解決策があるのかというと、残念ながら何も有効策は持っていない。ただ次の2点を進めるよう考えている。一点はやはり自衛隊あるいはこれに代わる軍隊を海外に派遣すべきではないこと。もちろん攻撃が最大の防御だということも一理あるがだ。もう一点は日本の技術力を持って防衛のための武器を開発することだ。これもかのおばちゃんたちは防衛兵器がすぐに攻撃兵器に転用することができるからこれも反対だというだろう。その通りかもしれないが、それでも優れた防衛兵器を開発すべきかと思う。例えば今アメリカが考えているミサイル迎撃システム、飛んできたミサイルをと途中で撃ち落とす、等が必要と思われるが、今のシステムでは多数弾頭を相手にすることはできない。日本のどこかに核弾頭ミサイルが着弾するだろう。こういう防御システムをもっと力を入れて開発すべきかと思う。よくアニメであるような防御スクリーンのようなものができればいいのではないか？強力な電磁波を照射して核弾頭の制御機能を破壊するのでもいいのかもしれない。この場合制御機能を失った核弾頭をどう無力化するかも考慮する必要があると思うが、レーザー砲に比べると電磁波のほうが標的に当たりやすい。

いずれにしてもおそらく日本は世界の中でも突出した科学技術力を持っていると思われるし、こうし

た防衛技術を開発すべきと考える。

いずれにしてもいまのならず者国家が多い中で、丸腰で上手く収まるような交渉などありえないと考える。我々と同じ考えで相手が行動すると思うことこそ、まったく理解できない考えだ。何しろ文化と歴史が全く異なると思うことが何よりも重要なことであろう。

今の安倍政権がもくろむようにただ自衛隊を強化して必要ならば海外に展開するため、憲法改正を強引に推し進めようとしていることこそ、戦争勃発の原因になる気がしてならない。なんとも今の雰囲気は第二次世界大戦が始まる前と似ている気がする。

戦争が始まる時にはそれぞれの国がそれぞれの理由を掲げている。どれも正当な主張かもしれない。多分戦争が終わってみないことにはどの選択が正しかったのか説明することはできないだろう。こうした意味でなかなか戦争を起こさないいい対策を持っていないのが実情だ。

日本が全技術力を持って防衛兵器を開発することは、日本と同様な他の国にとってもいい技術の転用ができるかもしれない。ただ戦争反対を唱えていても何の意味もない。自分だけが死んで済むことにならないのだから。やはり自分に近い人は守りたい。これは本来の生物が持つ本能だと思う。

なかなか思うことが述べられないが、現状を考えるヒントにしてほしい。ただ戦争反対、外交交渉をうまくやれでは済まない状況だともう。おばちゃん！